

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス バビバレーン広島皆実		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 22日		～ 2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 11月 22日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた丁寧な個別支援が行われている	子ども一人ひとりの特性や気持ちを丁寧に把握し、安心して過ごせるよう寄り添った関わりを意識している。	子どもの興味や発達段階に応じた活動の幅をさらに広げ、成功体験をより多く積めるようプログラムの見直しと工夫を継続していく。
2	職員が子どもに寄り添い、安心して過ごせる温かい関わりができています	個別支援計画に基づき、発達段階や興味関心に応じた活動内容を工夫し、成功体験を積み重ねられる支援を行っている。	職員間での情報共有や支援方法の統一を図るため、定期的なケース検討や研修を実施し、支援の質の向上に努めていく。
3	保護者への連絡や相談対応が丁寧で、情報共有がしっかり行われている	送迎時のやり取りや連絡ツールを活用し、日々の様子や成長を分かりやすく伝えることで、保護者との情報共有を丁寧に行っている	保護者への情報発信の機会を増やし、日々の様子や取り組みを分かりやすく伝えることで、より一層の信頼関係の構築を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や社会体験の機会が少なく、外部との関わりの場が限られている	利用者が外部に出る機会や参加できるプログラムが十分に整備されていないことや、地域とのつながりを持つ仕組みが限定的であることが要因と考えられる。	地域や外部団体と連携し、交流・社会体験の機会を意図的に設ける必要がある。また、利用者の興味や特性に応じた参加方法を工夫し、安全面や支援体制を整えることも重要である。
2	職員の入れ替わりにより、子どもや保護者が不安を感じることがある	職員の入れ替わりにより、子どもや保護者が慣れ親しんだ関係が変わってしまい、不安や安心感の低下が生じること	職員交代時の丁寧な引き継ぎや情報共有、子どもや保護者への事前の説明、信頼関係を築くための関わりの工夫が必要
3	活動内容や事業所の取り組みに関する情報発信が十分に伝わっていない	活動内容や事業所の取り組みに関する情報発信が十分に伝わっていないのは、情報発信の方法や頻度が限定的であったり、受け手にとって分かりやすい形で整理されていないことが主な要因と考えられます。	情報発信をより効果的に行うためには、発信する内容や目的を整理し、受け手に分かりやすい形式で伝える工夫が必要